



水・大地・空気を
未来につなぐ

ミダックホールディングス 環境影響評価方法書説明会



本日の式次第



時間	内容
1 4 : 0 0	説明会開始 事業者側説明 (1) 事業者概要 (2) 本計画概要について (3) 環境影響評価制度について (4) 調査概要及び方法について
1 5 : 0 0 (予定)	質疑応答
1 6 : 3 0	全体終了

事業者概要

ミダックホールディングス 会社概要



当社は、「水と大地と空気を未来につなぐ」を社是に掲げ、廃棄物処理事業を中核とした東証プライム/名証プレミアム上場企業です。



商 号：株式会社ミダック ホールディングス

所在地：静岡県浜松市中央区有玉南町2163番地

創 業：1952年（昭和27年）4月

資本金：90,000,000円

代 表：代表取締役社長 加藤恵子

事業内容：産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分
一般廃棄物の収集運搬・中間処理、等

ミダックグループの歩み



第1創業期
1952年
~1983年

●小島清澤社として創業
●し尿の汲み取りが主な業務



第2創業期
1984年
~1995年

●創業者の他界、二代目代表の就任
●呉松事業所（破砕・埋立）の開設



第3創業期
1996年
~2001年

●水・大地・空気の頭文字を取り、
現社名（ミダック）へ
●豊橋事業所（選別・混練）の開設



第4創業期
2002年
~2011年

●富士宮事業所（焼却）の稼働を開始
●東京・名古屋営業所を開設し
営業エリアを拡大



第5創業期
2012年
~現在

●関東事業所（水処理）の開設
●堀三晃、南ミダックはまなを子会社化
●名古屋証券取引所・東京証券取引所に上場



おかげさまで70周年 さらになるステージへ

おかげ様で創業70周年を
迎えました。

ミダックグループ組織体制

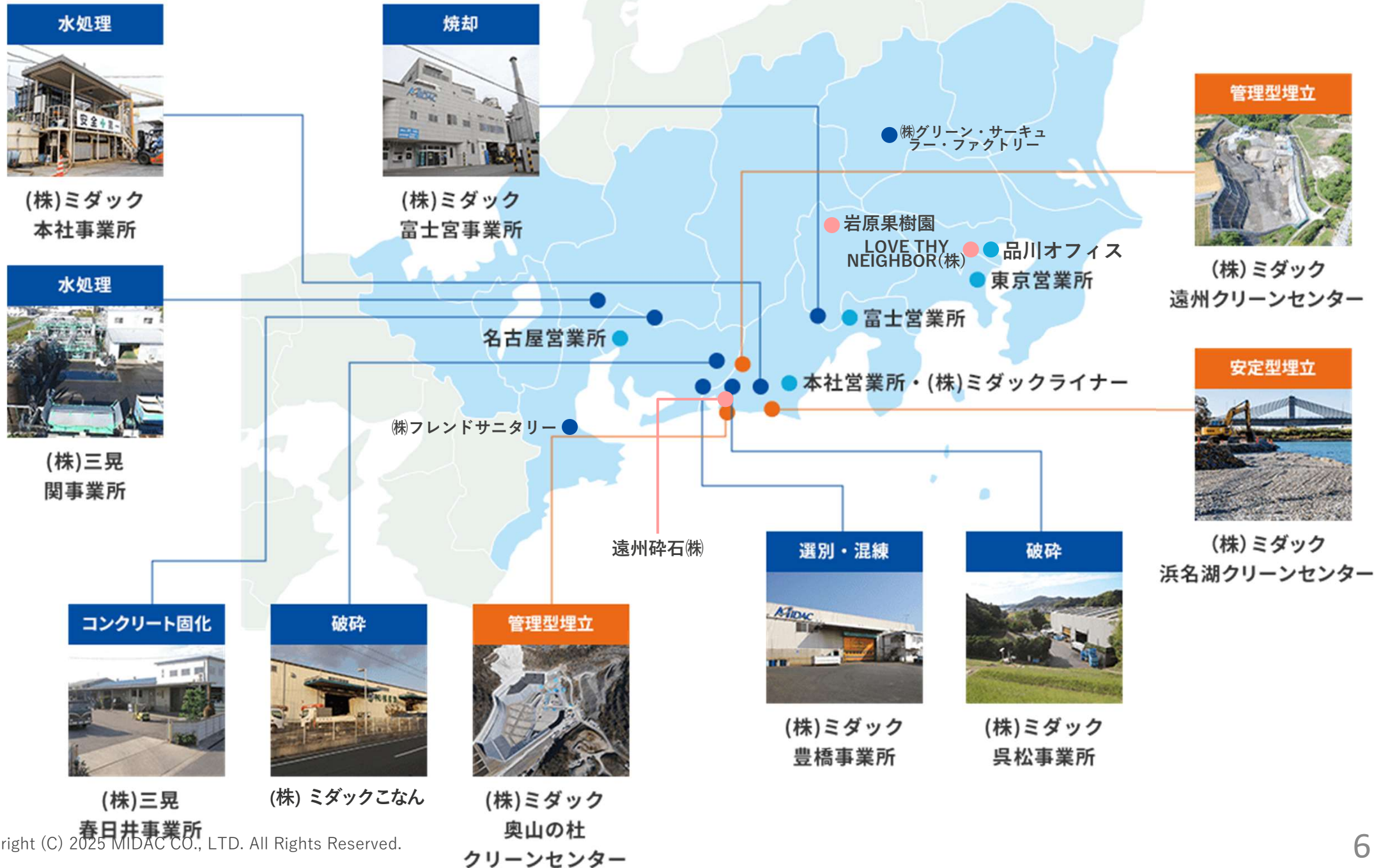


当グループはミダックホールディングスを頂点とした持株会社体制を敷いています。



※GSFはヤマダHDとミダックHDの合併会社です。(出資比率 ヤマダHD：60% ミダックHD：40%)

ミダックグループ拠点一覧



ミダック奥山の杜クリーンセンター



■ 2022年2月開業 東海地区最大級の管理型最終処分場



◆ 所在地：

静岡県浜松市浜名区引佐町1397番地195

◆ 許可容量：3,193,177 m³

◆ 処分方法：管理型埋立処分

◆ 受入品目：

燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、政令第2条第13号廃棄物、特定有害廃石綿等

※受入品目の詳細は許可証をご確認ください

◆ 受入時間：月～金曜日

8:30～12:00、13:00～16:00



新東名高速

浜松いなさインターより約10分

ミダックと地域社会との関わり（社会貢献活動）



当グループは、地域社会発展のため、社会貢献活動を積極的に推進し、地域との交流を通じて信頼関係構築に努めています。

1

ウェルカム
クリーン大作戦



2

花のリレー
プロジェクト



3

6R
県民運動



4

浜名湖
クリーン作戦



5

売木村
530運動



6

再エネ100宣言
RE Action 参加



7

移動式循環
リサイクルカー



8

はままつ
ママゼミ



9

ユーコープ
環境イベント



10

売木村秋祭り
協賛・出展



11

年末助け合い
運動への寄付



12

子ども食堂への
食料品寄付



13

有玉小学校
環境授業



14

災害廃棄物
処理協定



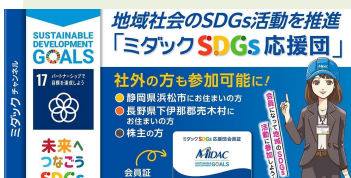
15

はままつ脱プラ
推進事業



16

ミダック
SDGs応援団



17

生物多様性
協議会



ミダック公式YouTubeチャンネル



2022年1月より、公式YouTubeチャンネル「MIDAC Official Channel / 株式会社ミダック公式チャンネル」が始動。当社事業所の紹介や当社のSDGsの取り組み等を発信しています。



株式会社ミダック富士宮事業所 紹介動画※
動画は2019年度の情報を元に作成されています...



産業廃棄物の中間処理（株式会社ミダック本社事業所）水処理施設で働く若手社員に密...



街をきれいにする 働く車 第三弾 こんなにすごい! 吸引車の能力を大公開!!



SDGs推進! 売木村とMIDACとの活動! ~
2021年7月包括連携協定締結後の活動 報...



ミダック独自の時差出勤制度「ミダックおもいやり制度」をご紹介します!!

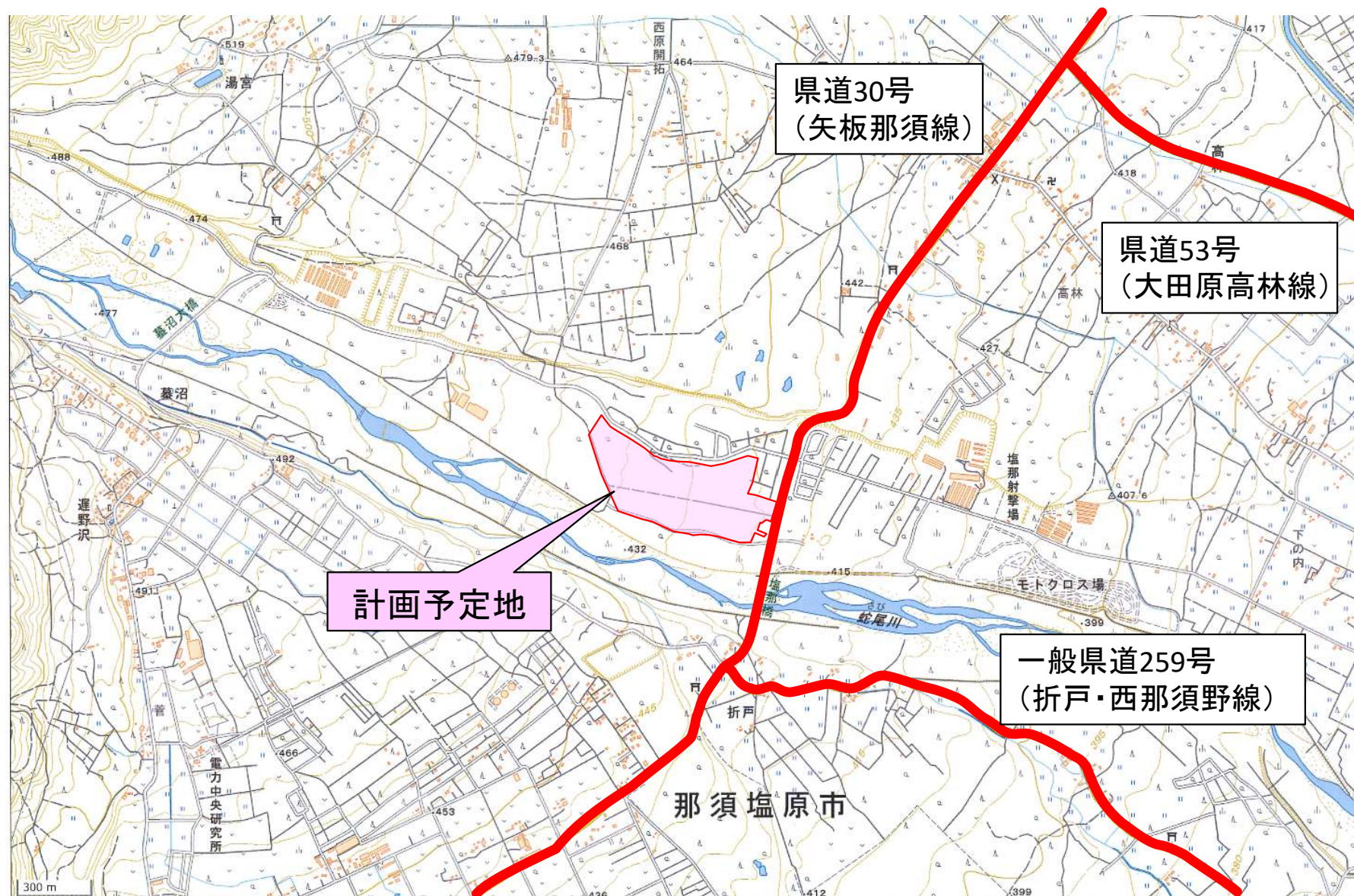


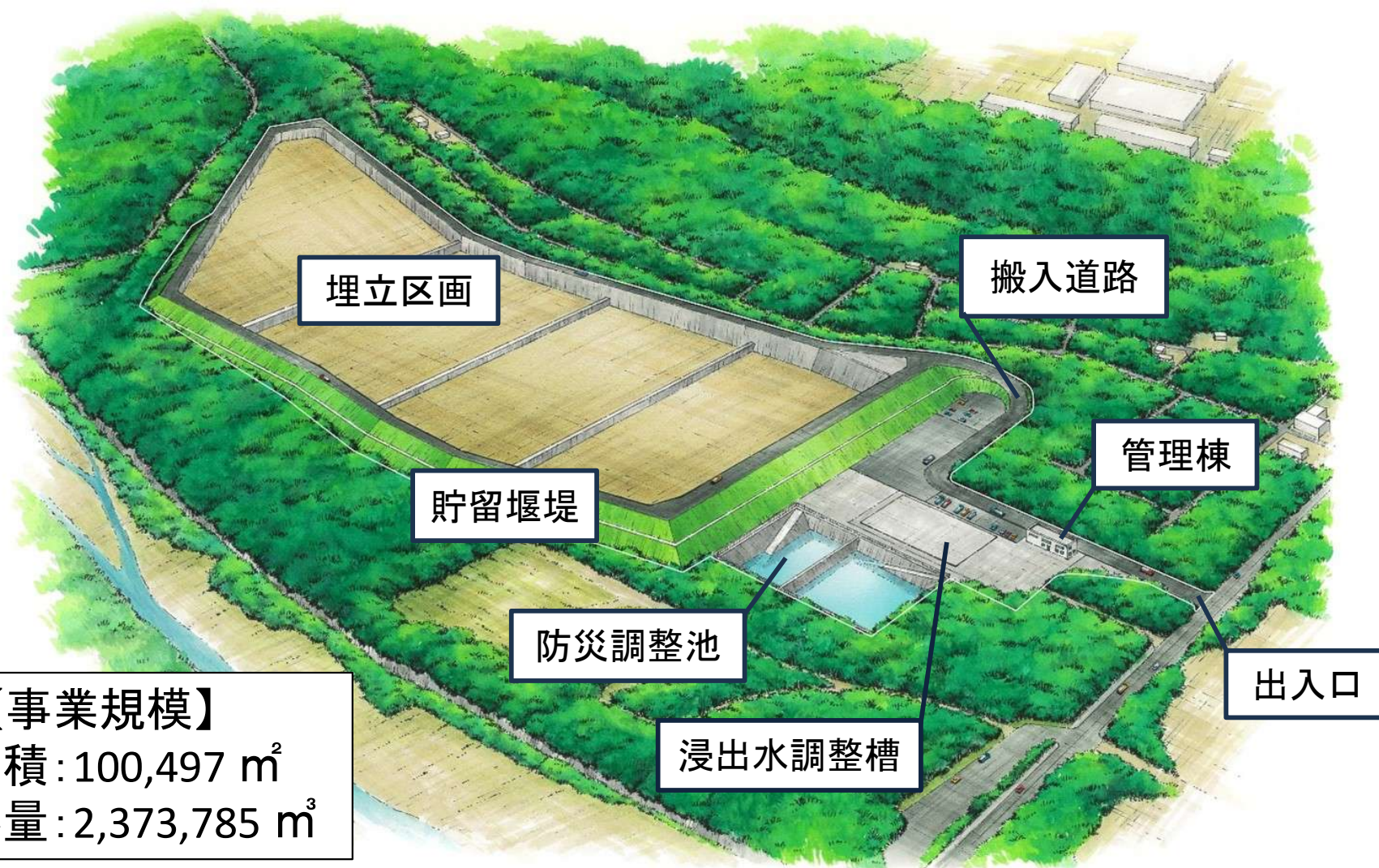
産学連携共同研究 ミダックx早稲田大学最終
処分場の新たな価値! 処分場CCSとは? ...

本計画概要について

施設の種類	管理型最終処分場
処理する廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条第13号に規定する産業廃棄物、特定有害廃石綿等
処理能力	[埋立面積] 約10ha(※栃木県環境影響評価条例の対象事業に該当) [埋立容量] 約230万m ³
埋立期間	20年程度 ※計画の埋立量に達するまで処分業許可を更新していきます

事業実施予定地

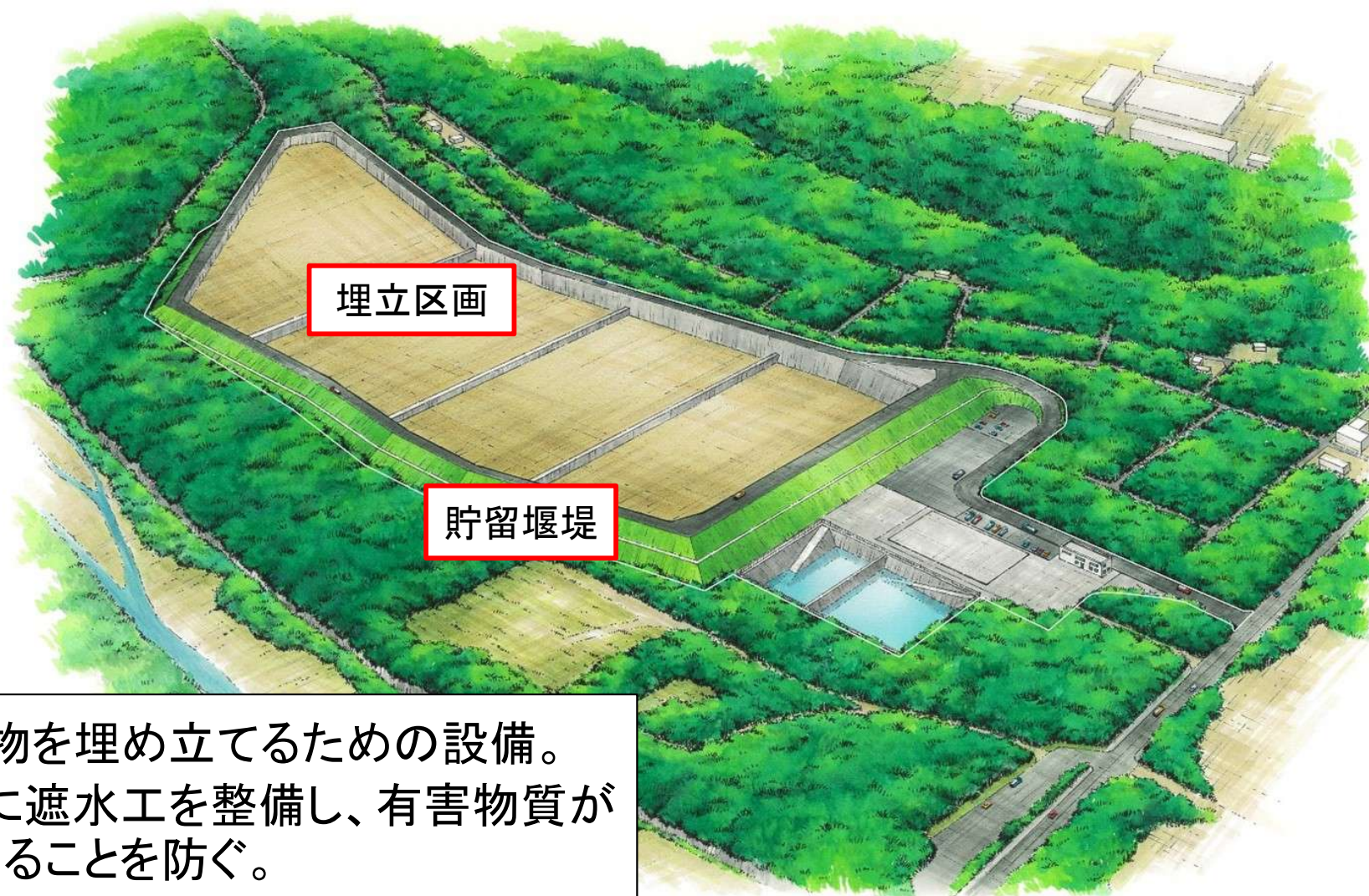




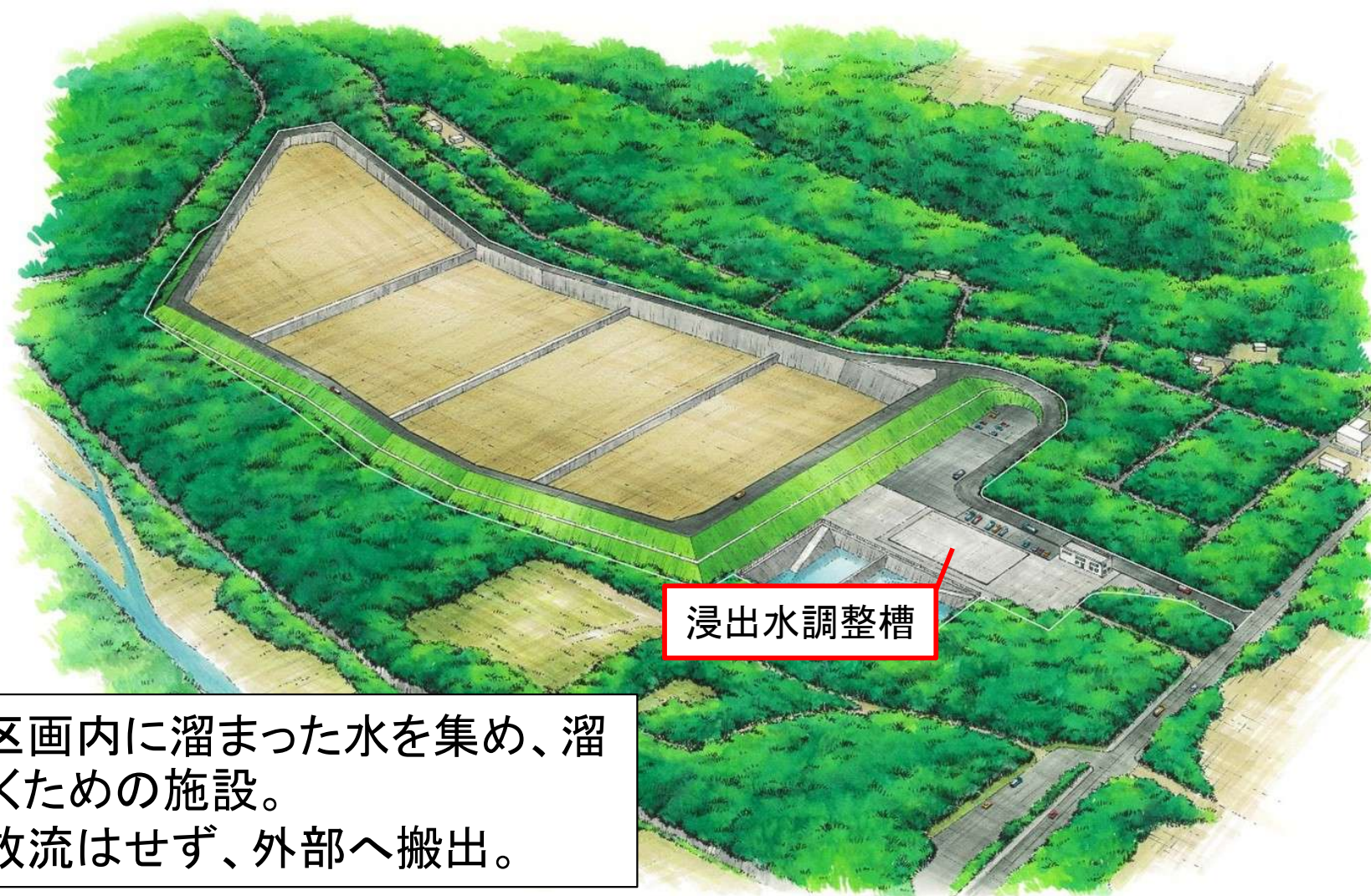
【事業規模】

埋立面積: 100,497 m²

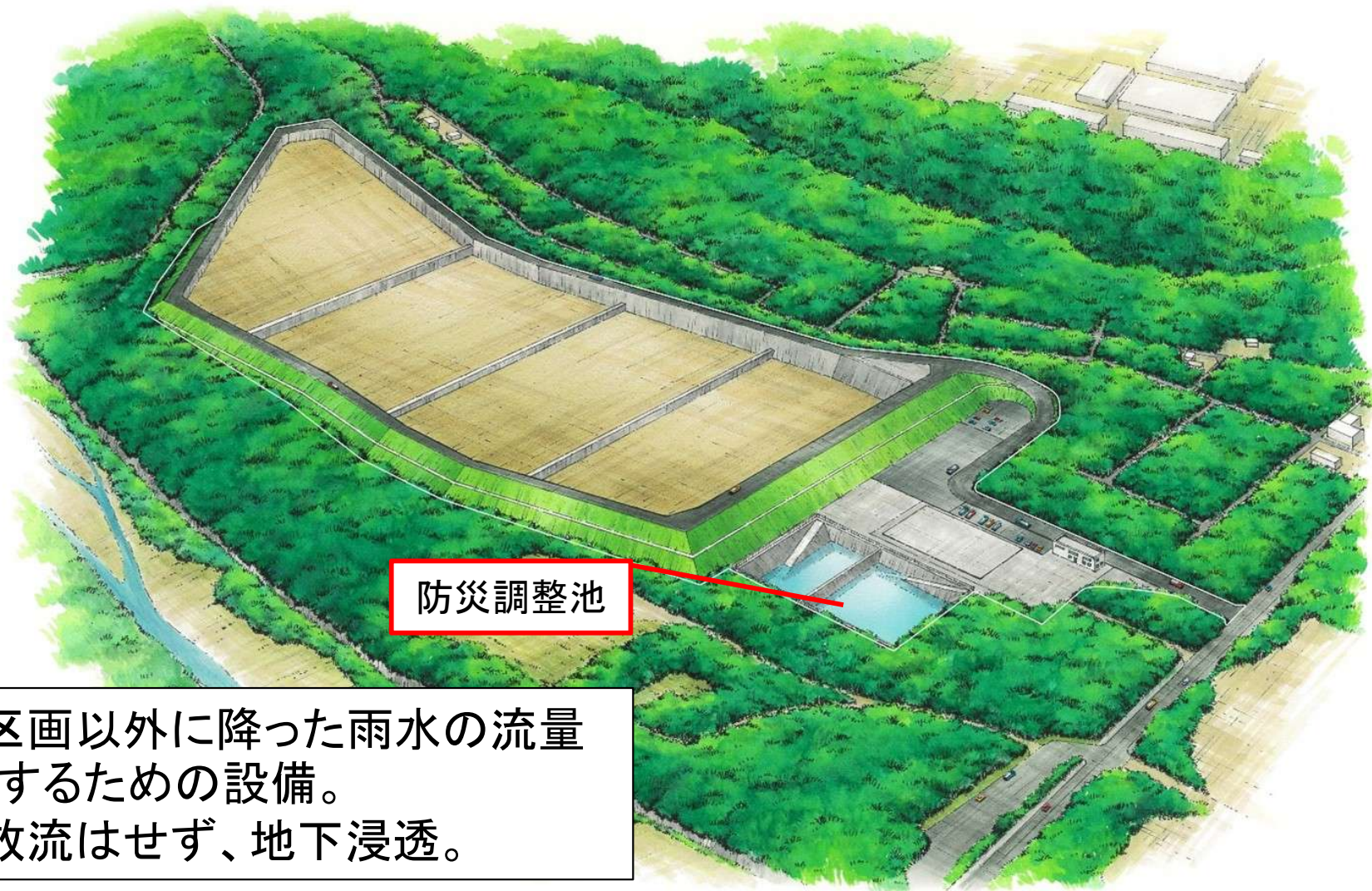
埋立容量: 2,373,785 m³



- 廃棄物を埋め立てるための設備。
- 内側に遮水工を整備し、有害物質が外へ出ることを防ぐ。



- ・埋立区画内に溜まった水を集め、溜めておくための施設。
- ・河川放流はせず、外部へ搬出。



防災調整池

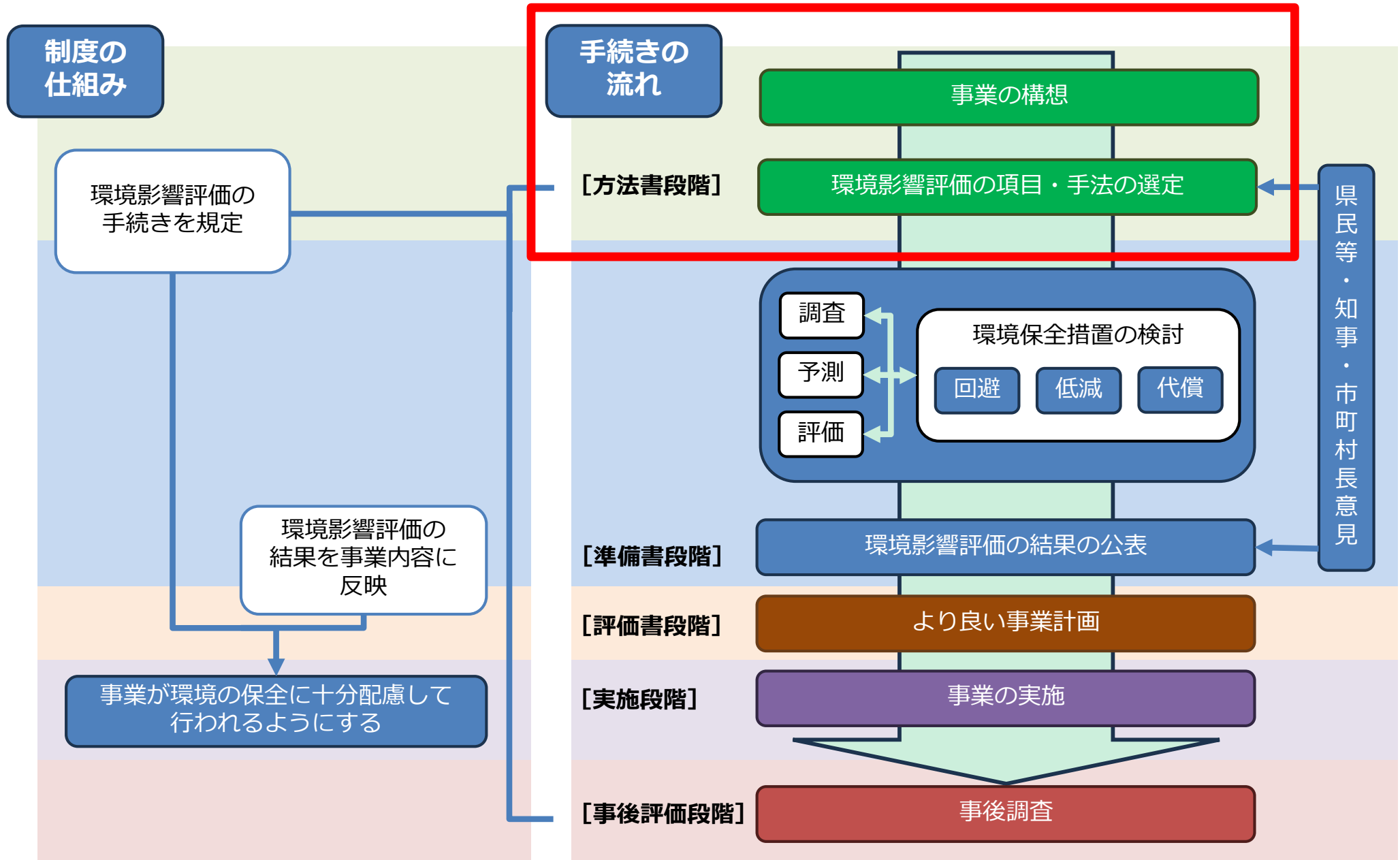
- ・埋立区画以外に降った雨水の流量を調整するための設備。
- ・河川放流はせず、地下浸透。

環境影響評価制度について

環境アセスメント制度



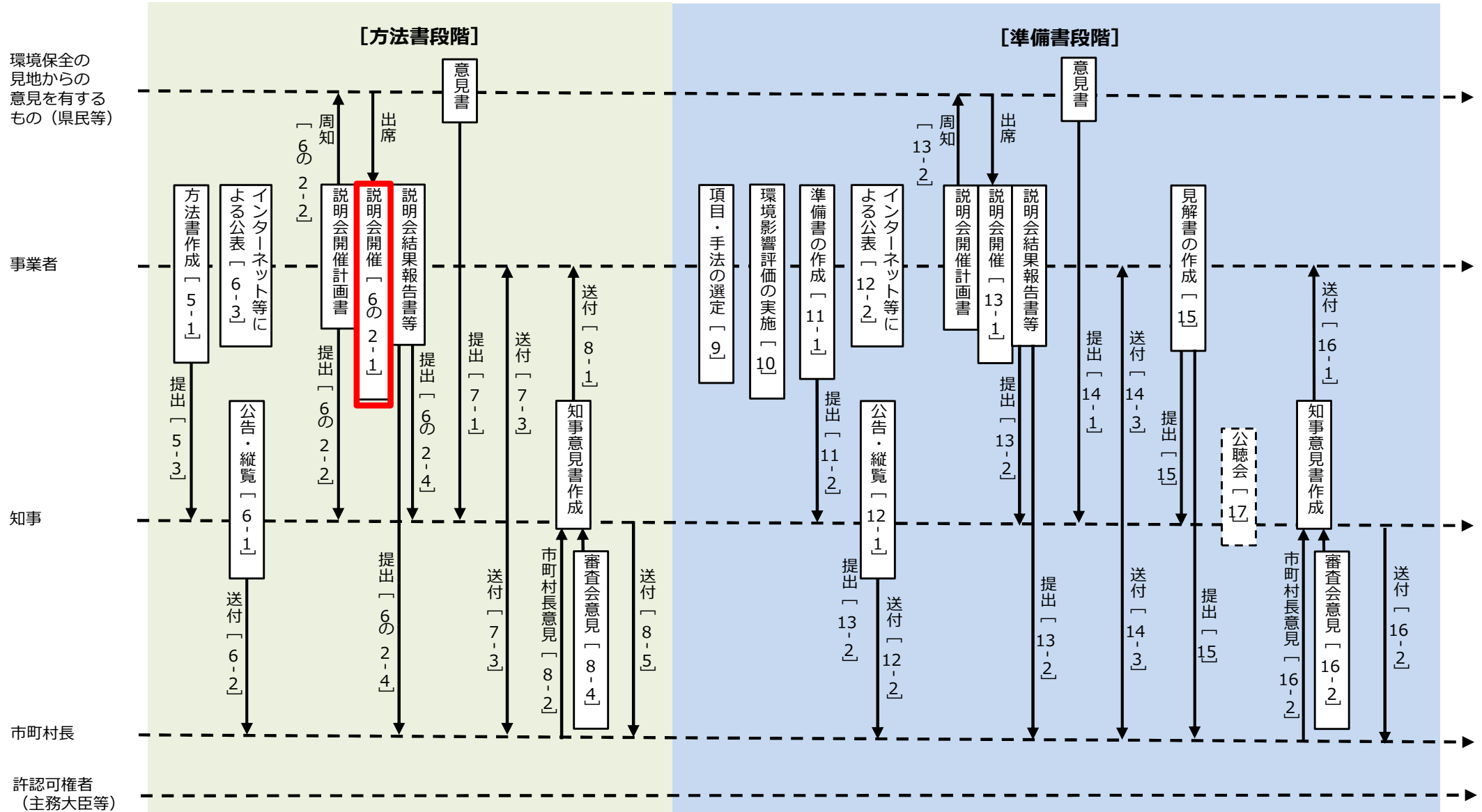
環境影響評価手続の流れ



現手続（説明会）について

栃木県環境影響評価条例の手続の流れ

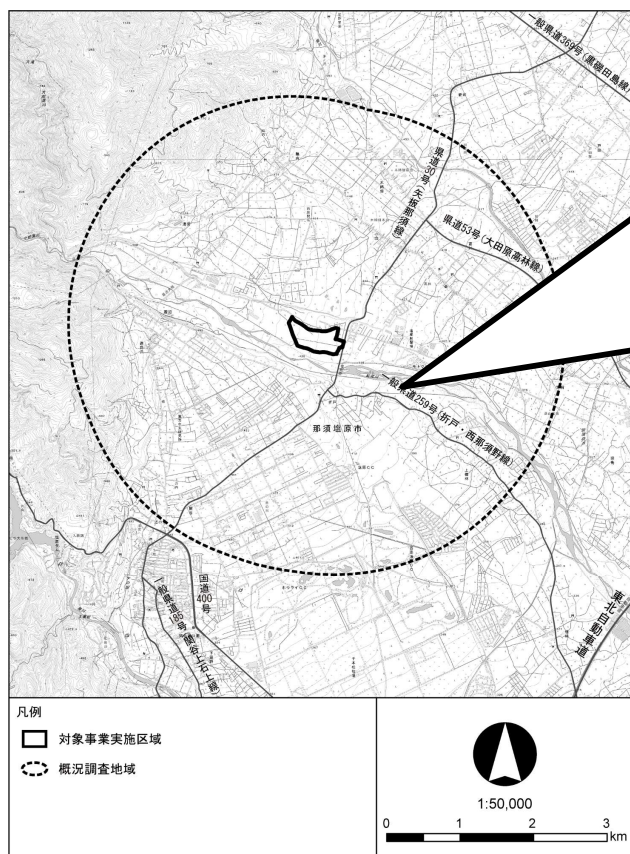
[] は条例の関係条項を示します。



①調査 → ②予測 → ③評価

①調査とは？

調査 = 周辺環境の情報を知するために
様々な調査を行う。



「那須塩原市折戸」

に

「管理型の最終処分場」

ができると仮定



何を調べたらいいか
考える



選定した
ポイント
（項目）を
重点的に
調べる

栃木県の定める 「栃木県環境影響評価技術指針」

II.

ガイドライン



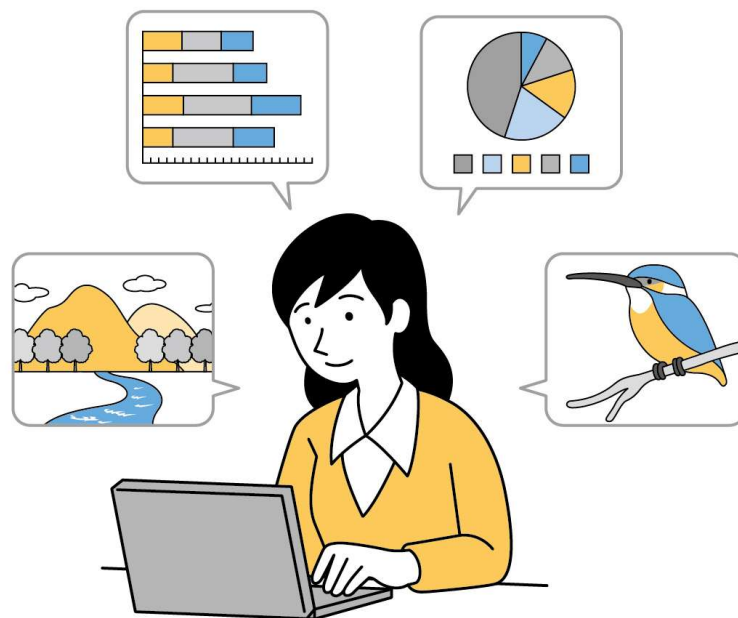
選定の参考とする



Copyright © Engineering Geo Corporation All rights reserved

②予測とは？

予測 = 調査で得たデータを使って、事業を行うにあたり地域の環境が**どのようなに変化するか**を分析する。



Copyright © Engineering Geo Corporation All rights reserved

③評価とは？

評価 = 予測の結果得られた情報をもとに、
環境への影響があるか、あるならどの
程度か、影響があるなら事業者と
してどのように対応するのかを考えて
て対策を検討する。



Copyright © Engineering Geo Corporation All rights reserved

①調査 → ②予測 → ③評価

それぞれの「方法」を説明する。



今回の方法書説明会

環境アセスメント実施内容について

環境アセスメント選定項目



環 境 要 素		選定項目
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気質	○
	水質	○
	水象	○
	土壌	○
	騒音	○
	振動	○
	地盤	○
	悪臭	○
	地形・地質	×
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	植物	○
	動物	○
	生態系	○
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	×
	人と自然との触れ合いの活動の場	○
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	○
	温室効果ガス等	○

選定しなかった項目：地形・地質

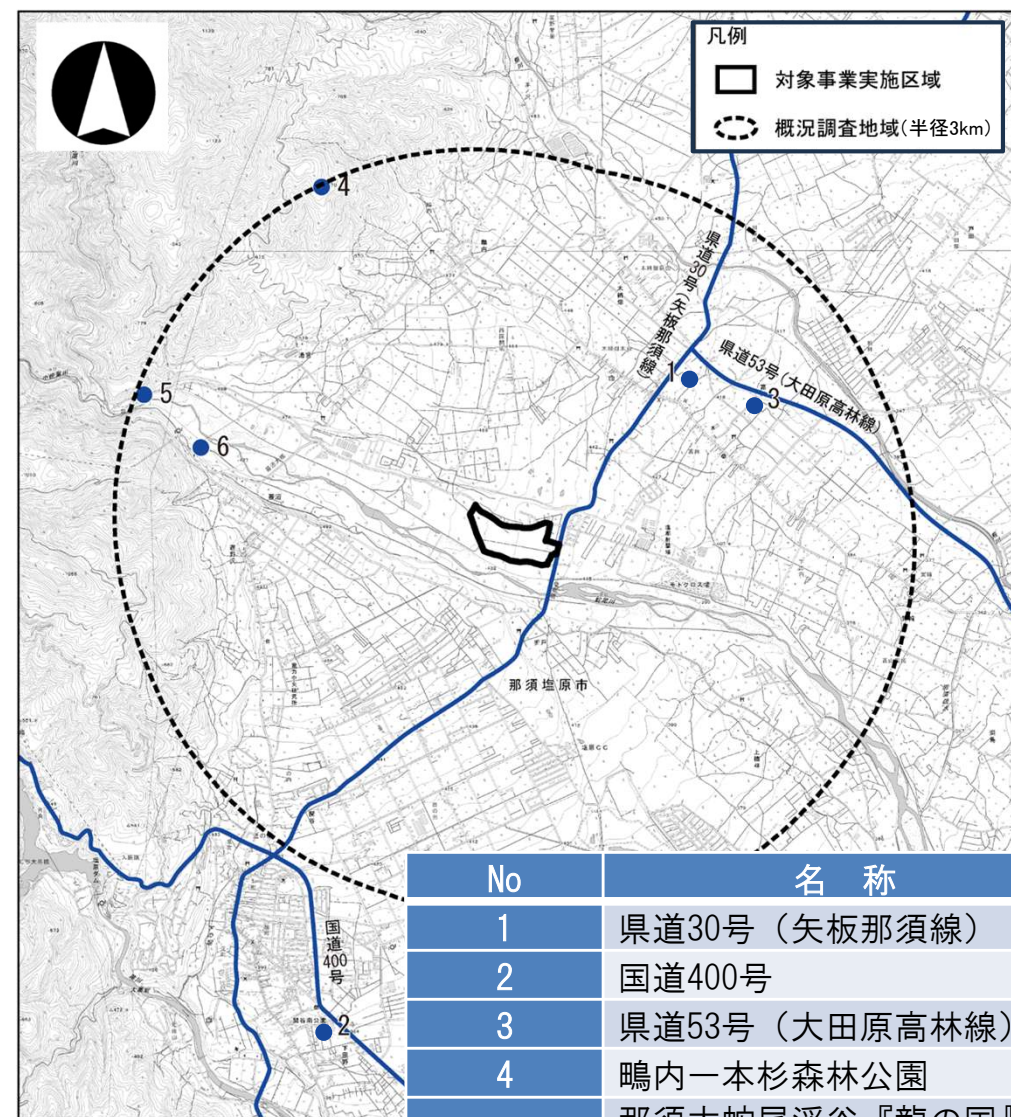


資料：「第3回基礎調査自然環境情報図（栃木県）（平成元年発行、環境庁）」

選定しなかった項目：景 観



No	名 称
1	蛇尾川の河原
2	高林小学校のヒイラギ (高林483)
3	黒瀧山大日尊 (嶋内1560-2)



No	名 称
1	県道30号 (矢板那須線)
2	国道400号
3	県道53号 (大田原高林線)
4	嶋内一本杉森林公園
5	那須大蛇尾溪谷『龍の国』 オートキャンプ場
6	蛇尾川 フィッシングパーク

・調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・ 二酸化窒素及び一酸化窒素
- ・ 浮遊粒子状物質
- ・ 粉じん等

〈影響要因の区分〉

- ・ 建設機械の稼動
- ・ 工事用車両の運行
- ・ 埋立機械の稼動
- ・ 廃棄物運搬車両の運行

〈調査地点〉

- ・ 事業実施区域内 1地点
- ・ 県道30号、県道53号、国道400号

〈予測・評価の手法〉

定量的に予測し、各種基準と比較し、評価する。

★気象の調査状況



★大気質の調査状況 (事業実施区域内)



(県道、国道)



・ 調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・ 地下水の水質の状況

【過年度調査結果の整理】

〈影響要因の区分〉

- ・ 造成等の施工

〈調査地点〉

- ・ 事業実施区域内 5地点

〈予測・評価の手法〉

造成等の施工の影響について定量的に予測し、各種基準と比較し、評価する。

★地下水の採取状況



・ 調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・ 地下水の水位

【過年度調査結果の整理】

〈影響要因の区分〉

- ・ 造成等の施工
- ・ 最終処分場の存在

〈調査地点〉

- ・ 事業実施区域内 6地点

〈予測・評価の手法〉

造成等の施工、最終処分場の存在の影響について事業計画等から定性的に予測し、評価する。

★地下水の水位の計測状況



・ 調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・ 特定有害物質
- ・ 銅
- ・ ダイオキシン類

〈影響要因の区分〉

- ・ 造成等の施工

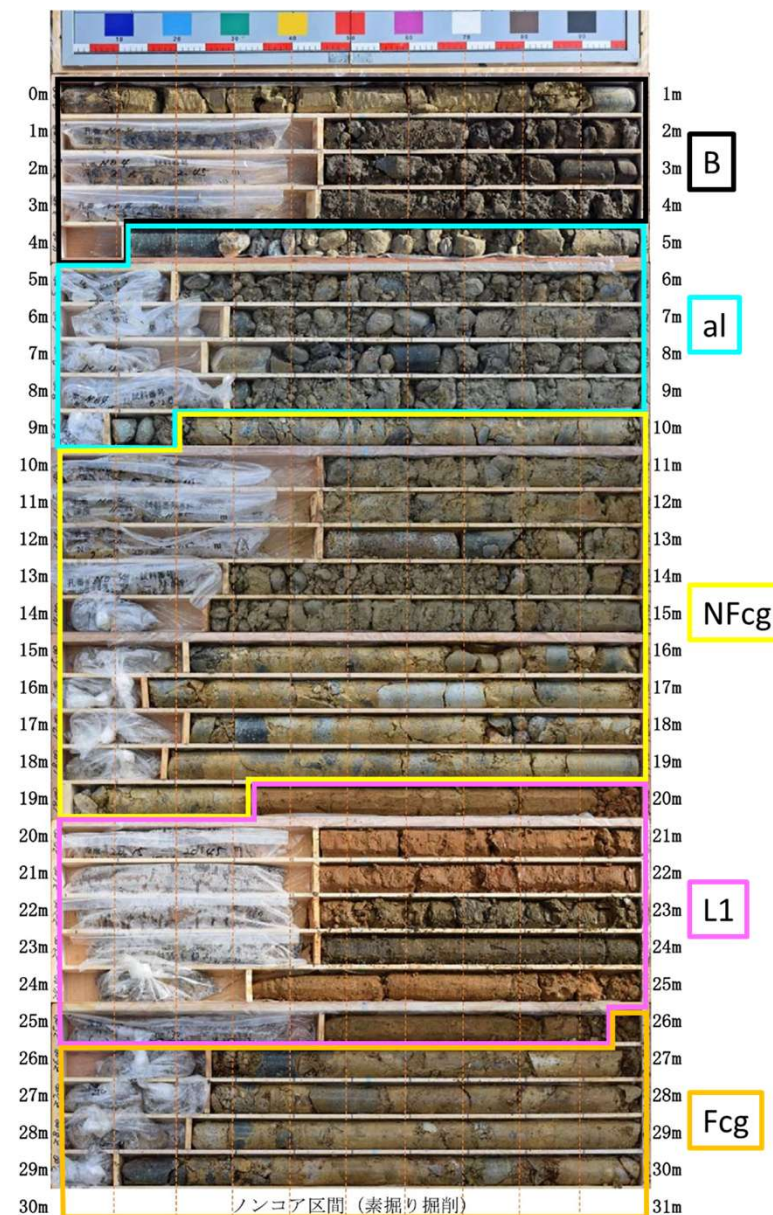
〈調査地点〉

- ・ 事業実施区域内 6地点
- ※ボーリングコアの分析

〈予測・評価の手法〉

定性的に予測し、各種基準と比較し、評価する。

★ボーリングコアの分析



・調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・環境騒音
- ・工事騒音
- ・建設作業騒音
- ・道路交通騒音

〈影響要因の区分〉

- ・建設機械の稼動
- ・工事用車両の運行
- ・埋立機械の稼動
- ・廃棄物運搬車両の運行

〈調査地点〉

- ・事業実施区域内 1地点
- ・県道30号、県道53号、国道400号

〈予測・評価の手法〉

定量的に予測し、各種基準と比較し、評価する。

★騒音・振動調査状況



・ 調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・ 環境振動
- ・ 工場振動
- ・ 建設作業振動
- ・ 道路交通振動

〈影響要因の区分〉

- ・ 建設機械の稼動
- ・ 工事用車両の運行
- ・ 埋立機械の稼動
- ・ 廃棄物運搬車両の運行

〈調査地点〉

- ・ 事業実施区域内 1地点
- ・ 県道30号、県道53号、国道400号

〈予測・評価の手法〉

定量的に予測し、各種基準と比較し、評価する。

★騒音・振動調査状況



・ 調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・ 地盤の状況
【過年度調査結果の整理】
- ・ 地下水の採取に伴う地盤の沈下
【既存資料調査】
- ・ 地下水位
【過年度調査結果の整理】

〈影響要因の区分〉

- ・ 造成等の施工
- ・ 最終処分場の存在

〈調査地点〉

- ・ 事業実施区域内 6地点

〈予測・評価の手法〉

安定計算等により、安定性を予測し、評価する。

★ボーリング調査の実施状況



★当該地のボーリングコアの例



★弾性波探査の機材一式

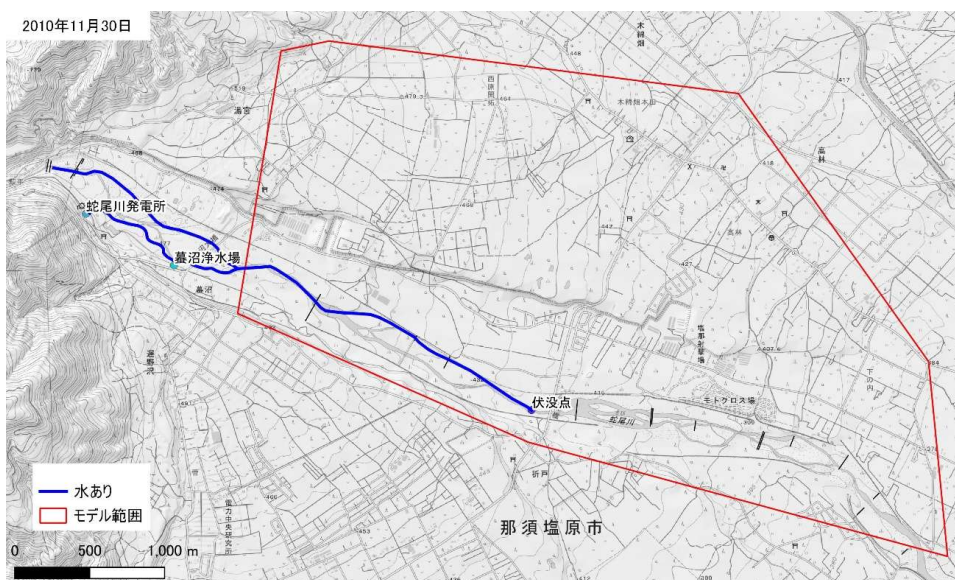


★電気探査の機材一式



地 盤：現地調査（湧水調査等）

★空中写真の判読及び現地確認



★現地湧水調査



・ 調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・ 臭気指数
- ・ 気象の状況
- ・ 地形等の状況

〈影響要因の区分〉

- ・ 廃棄物の存在・分解

〈調査地点〉

- ・ 事業実施区域内 2地点
※調査当日の風上・風下

〈予測・評価の手法〉

現地調査結果及び事業計画により定性的に予測し、評価する。

★悪臭の採取状況



・ 調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・ 植物の状況
- ・ 緑の量
- ・ 生育環境
- ・ 植物と生育環境との相互関係

〈影響要因の区分〉

- ・ 造成等の施工
- ・ 最終処分場の存在

〈調査範囲〉

- ・ 事業実施区域及び
その周辺200mの区域

〈予測・評価の手法〉

現地調査結果等から、定性的に予測し、評価する。

★植物の調査状況



• 調査・予測・評価

〈調査項目〉

- 哺乳類（任意観察、トラップ調査、無人撮影調査、夜間調査）
- 鳥類（任意観察、ラインセンサス調査、ポイントセンサス調査、夜間調査、猛禽類調査）
- 爬虫類（任意観察） • 両生類（任意観察）
- 昆虫類（任意採集、ライトトラップ調査、ベイトトラップ調査）
- 生息環境

〈影響要因の区分〉

- 工事用車両の運行 • 造成等の施工
- 最終処分場の存在 • 埋立機械の稼動
- 廃棄物運搬車両の運行

〈調査範囲〉

- （猛禽類以外）事業実施区域及びその周辺200mの区域
- （猛禽類） 事業実施区域及びその周辺3kmの区域

〈予測・評価の手法〉

現地調査結果等から、定性的に予測し、評価する。

★哺乳類（自動撮影装置）



★哺乳類（シャーマントラップ）



★昆虫類（ライトトラップ法）



★猛禽類調査



・調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・構成
- ・地域の生態系を特徴づける指標種

〈影響要因の区分〉

- ・工事用車両の運行
- ・造成等の施工
- ・最終処分場の存在
- ・埋立機械の稼動
- ・廃棄物運搬車両の運行

〈調査範囲〉

- ・「植物」「動物」に準ずる

〈予測・評価の手法〉

動植物その他自然環境の特性及び地域の生態系を特徴づける指標種の特性を踏まえ、指標となる構成要素に対する影響の有無及びその程度について、類似事例の参照により、できるだけ定量的に整理・解析し、評価する。

- 調査・予測・評価

- 〈調査項目〉

- ・人と自然との触れ合いの活動の場の位置、内容及び利用状況

- 〈影響要因の区分〉

- ・工事用車両の運行
 - ・廃棄物運搬車両の運行

- 〈調査地点〉

- ・事業実施区域周辺の3地点
(田舎ランド嶋内、那須大蛇尾溪谷「龍の国」オートキャンプ場、
蛇尾川フィッシングパーク)

- 〈予測・評価の手法〉

- 工事計画、事業計画の内容に基づき定性的に予測、評価する。

・調査・予測・評価

〈調査項目〉

- ・廃棄物等の種類と発生量及びその特性並びに廃棄物等の処理計画
- ・廃棄物等の減量化又は再利用の状況
- ・周辺の主要な処理施設の位置、内容又は利用状況

【既存資料調査】

〈影響要因の区分〉

- ・造成等の施工
- ・最終処分場の存在

〈調査範囲〉

- ・那須塩原市

〈予測・評価の手法〉

工事計画、事業計画より、廃棄物等の種類、発生量及び処分の状況（減量化、再利用等）について把握し、地方公共団体の環境保全施策に及ぼす影響を定性的に予測し、評価する。

・調査・予測・評価

〈調査項目〉

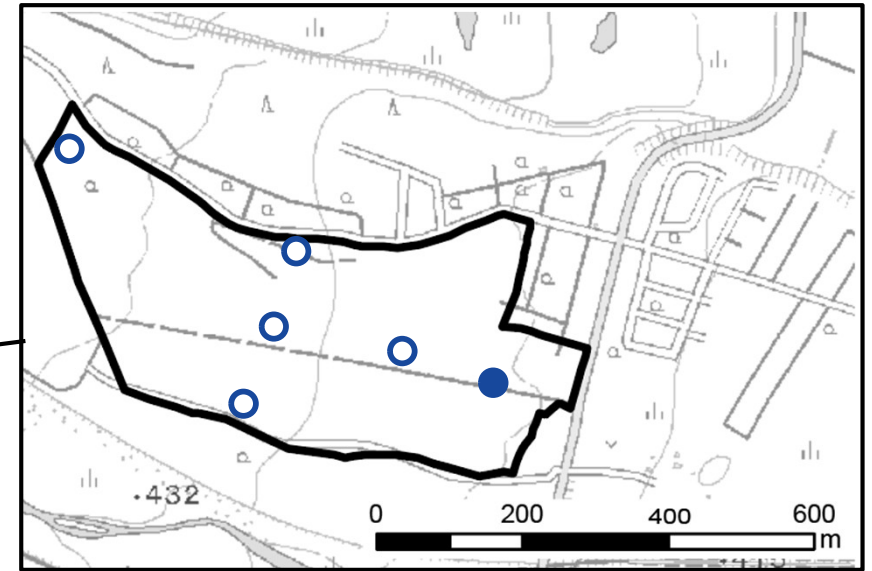
- ・ 排出する温室効果ガス及びオゾン層破壊物質の種類及び発生量、吸収量並びに使用量
- ・ 排出する温室効果ガス及びオゾン層破壊物質の処理計画
- ・ 温室効果ガス及びオゾン層破壊物質の削減又は代替の状況

〈影響要因の区分〉

- ・ 工事用車両の運行
- ・ 埋立機械の稼動
- ・ 廃棄物運搬車両の運行
- ・ 廃棄物の存在・分解

〈予測・評価の手法〉

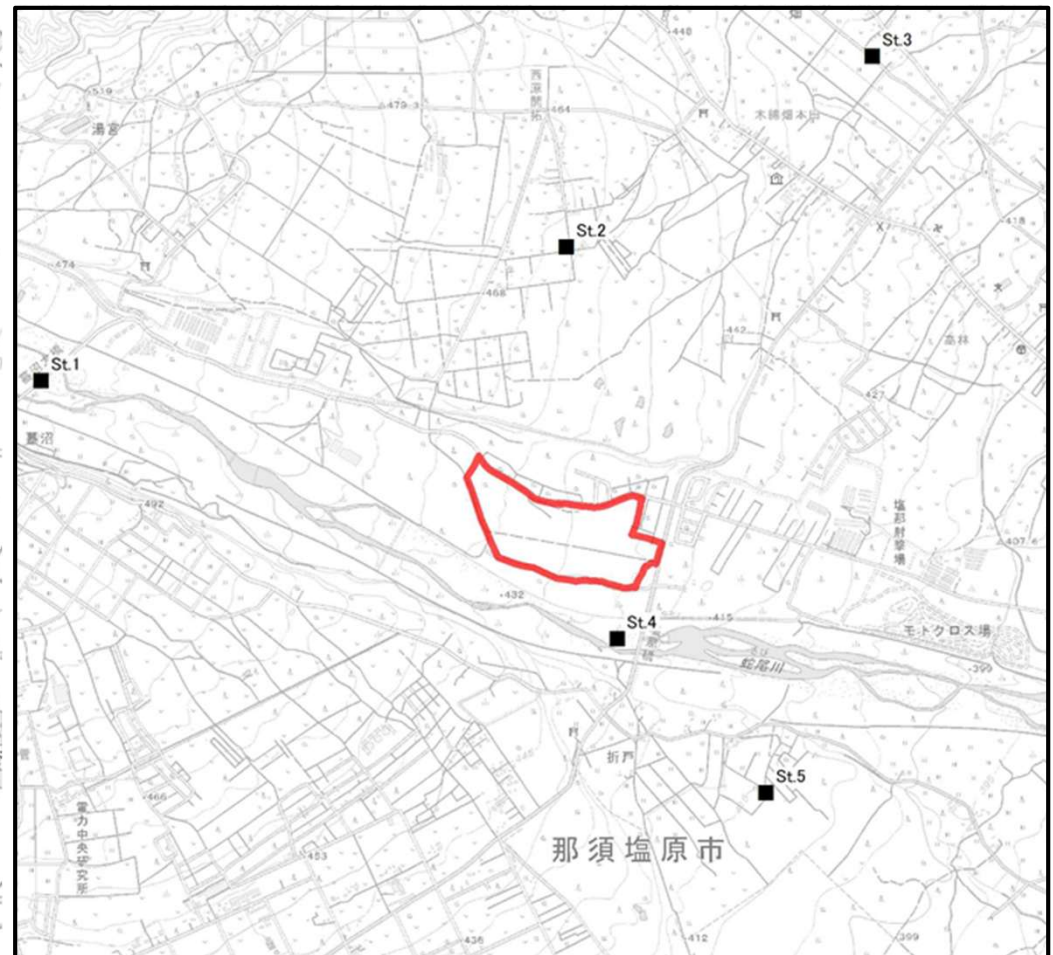
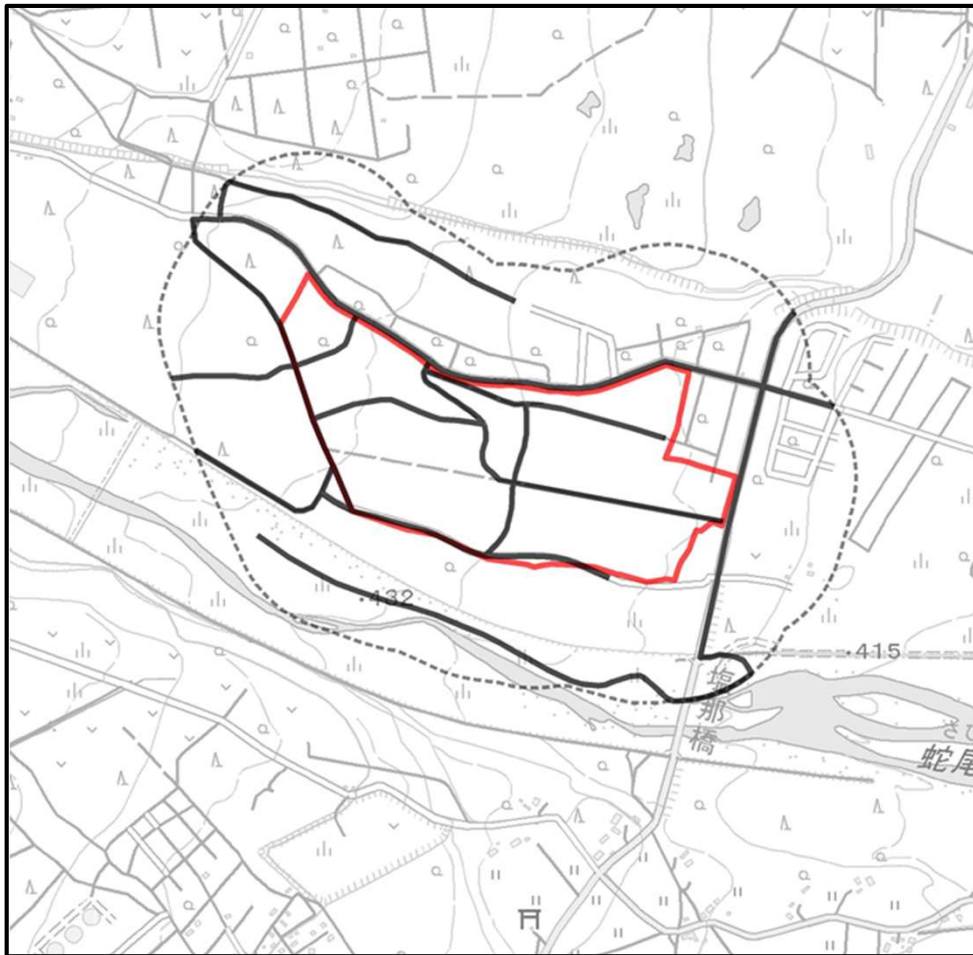
工事計画、埋立計画より廃棄物の種類、埋立量等を把握し、予測し、評価する。



- 48

調査地点（植物、動物）

★事業実施区域及びその周辺200mの区域 ★猛禽類 定点調査地点
(猛禽類を除く)



質疑応答

- 質疑応答：16時30分まで
- 質問数：お1人様2問まで
- 質問内容：方法書内容に関する質問

※ 本日の説明内容(方法書)に関する質問をお願いします。

※ ご意見は「意見書」としてご提出をお願いします。

以下の場所又はHPにて方法書の閲覧が可能です。

【閲覧場所】 ※ 2025年9月25日まで

- ① 栃木県 環境森林部 環境森林政策課
- ② 栃木県 県北環境森林事務所
- ③ 那須塩原市 ネイチャーポジティブ課

【ホームページ】 ※閲覧可能時期の期限は未定

<https://midac-doc.jp/>

意見書の提出について

- 提出先 : 〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田 1 丁目 1 番20号

栃木県環境森林部環境森林政策課

E-mail : kankyo-shinrin@pref.tochigi.lg.jp / FAX : 028-623-3259

※ 郵送、メールまたはFAXでご提出ください。

※ 株式会社ミダックホールディングス宛てではありません

- 締切日 : 2025年10月9日（木）必着

- 記載事項 : 以下の事項を記載の上提出 (※ 日本語で記載してください)

① 氏名、住所(法人等の場合は名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

② 意見書の提出の対象となる方法書の名称

⇒ 「(仮称)那須塩原市における産業廃棄物処理施設設置事業(管理型最終処分場)に係る環境影響評価方法書」

③ 方法書についての環境の保全の見地からの意見

※ 提出先や記載方法・記載事項に誤りや漏れがある場合は意見書が無効となる可能性があります。